

# 競 技 上 の 注 意

2023年全日本卓球選手権（ホープス・カブ・バンビの部）広島県予選  
審判長 竹中 正樹

## 1. 適用ルールについて

- ・本大会は現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・予選リーグは3ゲームズマッチ、その後のリーグまたはトーナメントは5ゲームズマッチで行う。
- ・ゲーム毎のコートチェンジは実施する。
- ・予選リーグではタイムアウト制は採用しない。
- ・その後のトーナメントまたはリーグのみタイムアウト制を採用する。
- ・同じチームの選手が同じリーグに入った場合はその選手同士の試合を先に行なう。

## 2. 競技領域への立ち入り制限とアドバイザーおよびタイムアウト

- ・試合毎に日卓にコーチ登録している1名がベンチにアドバイザーとして入ることができる。アドバイザーは1マッチ毎1名で途中交代はできない。
- ・1人のアドバイザーが同時に複数の選手のアドバイザーを兼務することはできる。その場合、アドバイザーが移動し、選手はコートを離れてはいけない。
- ・ゲームとゲームの間の1分の休憩時間およびタイムアウト時のみアドバイザーからのアドバイスは許されるが、試合前の練習後、ゲームの途中やそれ以外の人からのアドバイスは許されない。
- ・競技領域にはその時点での競技者とアドバイザーおよび審判以外は入らないこと。
- ・バンビ選手に登録した専任アドバイザーはバンビのみで、ホープス、カブのアドバイザーにはチームアドバイザーに登録している人以外は入れない。

## 3. 用具について

- ・ボールはJTТА公認プラスチック球（バタフライ・スーパースター-R40+）を使用する。
- ・外国製ラケットでJTТАAのマークのないものを使用する場合は、あらかじめ審判長に使用許可を受けること。

## 4. ラケット検査について

- ・いくつかの試合についてマッチの前にラケット検査を行う。違反と判断されたラケットは大会終了まで審判長が保管する。

## 5. 服装について

- ・ゼッケンは2023年度の日本卓球協会指定のものを着用すること。

## 6. 審判について

- ・3人リーグは同じリーグの試合のない選手が担当する。
- ・その他は基本以下の通りで進行係から依頼する。
  - 4人リーグは、試合のない他のリーグの人、トーナメントは予選リーグの敗者、決定リーグは試合の終了した敗者

## 7. 感染防止対策

- ・試合開始前のラケット交換は見せ合うだけとする。
- ・試合前、試合後の握手はしない

以上